

情報コーナー

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

日本人の感性が息づく芸能「阿波人形浄瑠璃」

人形浄瑠璃「傾城阿波の鳴門」は、1698年に罪状も明らかにされないまま藩の政策上の犠牲となって処刑された庄屋、板東十郎兵衛の名を借りてつくられたお家騒動の物語です。阿波十郎兵衛屋敷は、板東十郎兵衛の屋敷跡であり、「傾城阿波の鳴門」ゆかりの場所です。阿波十郎兵衛屋敷では「傾城阿波の鳴門」をはじめ、国指定重要無形民俗文化財「阿波人形浄瑠璃」を毎日上演しています。情感を込めて物語る太夫、五線譜には表せない多彩な音色で語りを支える義太夫三味線、そして、世界に比類のない三人遣いで操られる人形。私たち日本人の感性が色濃く息づく芸能を、心ゆくまでお楽しみください。



「阿波人形浄瑠璃」の定期公演

演 目：「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

公演時間：午前11時、午後2時

上演時間：約35分

平 日：人形座のみの出演（CD音源）

土日祝日：太夫、三味線、人形座が出演

※演目や公演時間等が変更になる場合があります。

※企画展や特別講演などの最新情報は、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷のホームページや公式SNSをご覧ください。



施設改修工事に伴う長期臨時休館

施設改修工事のため、2025年11月17日（月）～2026年4月中旬頃まで休館します。再オープンが4月下旬を予定しています。



〒771-0114 徳島市川内町宮島本浦184

☎ 088-665-2202（徳島県立阿波十郎兵衛屋敷）

大鳴門橋架橋記念館エディ

魅力、うず巻く、橋と渦潮のミュージアム！

当館は、鳴門のうず潮や大鳴門橋について、遊びながら学べる体験型のミュージアムです。

実物大の模型で紹介する「大鳴門橋のしくみ」、身体の動きや音に反応するデジタルアート空間「Play the Eddy!」、大鳴門橋の主塔（海面上約144m）の高さから鳴門海峡を一望できる「VR観光体験とくしまTrip」などの展示があり、年齢や国籍を問わずにお楽しみいただける施設です。

40周年イベント開催中！

当館は、2025年4月23日（水）に開館40周年を迎え、2026年3月31日（火）まで40周年記念イベントを開催しています。期間中、開館25周年を迎えた「渦の道」と当館を巡って参加できる「デジタルスタンプラリー」を開催しています。抽選で素敵なプレゼントが当たるチャンスです。ぜひご参加ください。

そして、9月には「渦の道・エディ共通セット券」をご購入いただいたお客様に、周年記念メダルをプレゼントする予定です。皆様のご来館を心よりお待ちしております。



〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池65

☎ 088-687-1330（大鳴門橋架橋記念館）

徳島県博物館協議会ニュース No. 79

令和7年8月29日発行

編集・発行者

〒770-8070

徳島市八万町向寺山 徳島県立博物館内

徳島県博物館協議会事務局

TEL 088-668-3636 FAX 088-668-7197

徳島県博物館協議会

8月 2025

NO. 79

ニュース



徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成8年2月27日に設立されました。現在は50館で組織しています。

各加盟館の情報は、WEB上では「徳島県博物館マップ」からご覧になれます。

(<https://museum.bunmori.tokushimajp/tokuhakukyo/default.htm>)

活動報告

令和7年度総会・研修会

徳島県立文書館で開催

6月25日（水）、徳島県立文書館講座室において、24館から37人が参加し、令和7年度の総会を開催しました。議事として令和6年度の事業報告・決算報告・監査報告、令和7年度の事業計画案・会計予算案、「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の後援について上程し、いずれも承認されました。

総会終了後に参加者は3班に分かれ、研修を行いました。横井尚徳氏による文書館の取組についての説明、嵐大二郎氏による企画展「徳島と博覧会」の展示解説、関麻希氏による収蔵庫案内をそれぞれ20分ずつ回り、文書館の機能と役割について深く学ぶことができました。

お忙しい中準備を進め、また当日の円滑な運営に尽力くださった文書館の皆様、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



総会の様子



研修①の様子



研修②の様子



研修③の様子

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

☎ 088-668-3700（徳島県立文書館）

阿南市立阿波公方・民俗資料館

昨年度は隔月に展示解説（全4回）を行い、多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

令和7（2025）年度は、阿南市・那賀川町・羽ノ浦町合併20周年を記念し、シンポジウム「阿波公方を語る」を開催します。また、プレ企画として儒教美術の企画展を行います。

企画展「目で見える儒学・漢詩・中国古典―生野コレクションⅠ 鈴木鳴門・那波魯堂ほか―（仮題）」

昨年、阿南市にご寄贈いただきました故・生野勇先生のコレクションを展示します。今回は2月のシンポジウムのプレ企画として、阿波公方の文芸にかかわる儒学や中国古典を題材とした藩絵師・儒者の作品を紹介します。

場 所 阿南市立阿波公方・民俗資料館

入館料 大人200円、中学生以下無料

期 間 令和7年11月11日（火）～12月14日（日）（月曜日・祝日は休館日）

開館時間 9：00～16：30

展示解説 令和7年12月6日（土）10：00～11：00

阿南市・那賀川町・羽ノ浦町合併20周年記念シンポジウム「阿波公方を語る」

日 時 令和8年2月28日（土）13：30～16：20

場 所 阿南市情報文化センター

講 演 天野忠幸氏

（天理大学文学部歴史文化学科教授）

パネルディスカッション

パネラー：天野忠幸氏

（天理大学文学部歴史文化学科教授）

須藤茂樹氏

（四国大学文学部日本文学科教授 同大学院文学研究科長）

根津寿夫氏

（徳島市立徳島城博物館前館長）

以上、五十音順

岩佐義弘（阿南市長）

パネルディスカッションにおいて、専門家の先生方に聞きたいことを、事前に募集します。詳細は、阿南市のホームページをご確認ください。

〒779-1234 阿南市那賀川町古津339-1

☎ 0884-42-2966（阿南市立阿波公方・民俗資料館）

